

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-073	15-064	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Evaluation of Moderate Alcohol Use With QT Interval and Heart Rate Using Mendelian Randomization Analysis Among Older Southern Chinese Men in the Guangzhou Biobank Cohort Study. メンデル無作為群間比較分析を用いた中国南部の高齢男性における適量飲酒と QT 間隔、心拍数の関連－広州バイオバンクコホート研究		
執筆者		
Au Yeung SL, Jiang C, Long M, Cheng KK, Liu B, Zhang W, Lam TH, Leung GM, Schooling CM.		
掲載誌		
Am J Epidemiol. 2015 Aug 15;182(4):320-7. doi: 10.1093/aje/kwv069.		
キーワード		PMID
メンデル無作為群間比較分析、飲酒、心電図、中国		26153479
要 旨		
<p>目的： 欧州の観察研究では適量の飲酒と循環器疾患のリスク低下の関連を示しているが、この関連は適量飲酒者の健康的な特性と交絡している可能性がある。メンデル無作為群間比較分析は適量飲酒が循環器疾患に特異的な因子に及ぼす因果関係の影響を明らかにし得る。</p> <p>方法： 2003 年から 2008 年に実施された広州バイオバンクコホート研究の中国南部の高齢男性 4,588 人を対象とし、2 型アセトアルデヒド脱水素酵素 (ALDH2) を変数として、メンデル無作為群間比較分析を用いて 10g/日のエタノールと心電図における心拍数で補正した QT 間隔との関連を検討した。</p> <p>結果： 飲酒に対する ALDH2 の F 統計量は 77 であったが、測定バイアスにより弱くなっていると推測される。飲酒は補正 QT 間隔の短縮と関連はなかった ($\beta=1.04$、95%信頼区間-0.61-2.70) が、心拍数の上昇とは関連した。 ($\beta=0.98$、95%信頼区間 0.04-1.92)</p> <p>結論： 本研究は男性において適量飲酒は QT 間隔や心拍数を介した心機能に対して効果的でなく、有害である可能性を示唆した。今後の循環器疾患に特異的なアウトカムを用いた研究によって循環器疾患に対して飲酒がどのように影響を及ぼすかを明らかにし、循環器疾患に対する飲酒の全般的な影響を明らかにすることができるだろう。</p>		